

令和2(2020)年度 入学者選抜要項

(一般入試・特別入試共通)

この要項は、令和2(2020)年度宮城教育大学入学者選抜に関する基本的な事項を掲載したものです。

出願手続、実施日程等の具体的な事項については、次のとおり発表しますので必ずご覧ください。

- 推薦入試(大学入試センター試験を課さない)は8月上旬に「令和2(2020)年度推薦入試学生募集要項」により発表
- 一般入試は10月下旬に「令和2(2020)年度一般入試学生募集要項」により発表
- 私費外国人留学生入試は10月下旬に「令和2(2020)年度私費外国人留学生入試学生募集要項」により発表

令和元(2019)年7月

宮 城 教 育 大 学

目 次

宮城教育大学における入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
1. 募集人員	3
2. 出願資格	4
3. 出願上の留意事項	4
4. 入試方法等	4
(1) 入試の種類と実施方法	4
(2) 一般入試の教科・科目及び配点	4
(3) 一般入試における面接及び実技検査の概要	4
(4) 推薦入試（大学入試センター試験を課さない）	4
[附表1～5]	
入学者選抜方法等	
（一般入試）	5
（推薦入試）	7
推薦入試①（大学入試センター試験を課さない）	8
推薦入試②（大学入試センター試験を課さない）	9
入学者選抜の実施教科・科目等について	10
[別表1～3] 実技検査の概要	14
5. 私費外国人留学生入試	17
6. 入学者選抜試験の情報開示	18
7. 学生募集要項の配付時期	19
8. その他	19
○学生募集要項等の請求方法	19
○オープンキャンパス、秋のミニオープンキャンパス	19
○照 会 先	20
○入学試験に関するインターネットによる情報提供	20
○宮城教育大学までのアクセス	20

宮城教育大学における入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

宮城教育大学は、広い視野と高度な専門性を具え、実践的な指導力を身につけた教員、また強い使命感と責任感を持ち、豊かな人間力を具えた教員を養成する教員養成大学です。将来、幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校等において優れた資質・能力をもった教員として活躍するために、第一に、教員となることへの強い目的意識を持ち、教員として、人間としての成長を目指す使命感・向上心を有する学生を求めています。そして、基礎的な知識および技能の上に、これらを活用して、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力を育み、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を有した学生を受け入れます。

1. 初等教育教員養成課程

- 1-1 初等教育教員には、全教科に対応しうる学力とともに、幅広い年齢層にわたる、子どもたちの多様な発達段階に応じた適切な指導力が必要です。
- 1-2 入学する学生には、高等学校において、全般的な教科・科目の基礎学力を十分に習得することが望まれます。
- 1-3 また、子どもたちを取り巻く環境も変化し、学校現場ではさまざまな問題が生じています。初等教育をめぐる諸問題に対して幅広い視野と強い関心を持つ学生を求めています。

2. 中等教育教員養成課程

- 2-1 中等教育教員には、特定の教科に関する専門的な学力とともに、子どもから大人へと変容し始める生徒に、適切に対応する指導力が必要です。
- 2-2 入学する学生には、高等学校において、志望する専攻に対応する教科・科目の十分な学力に加え、関連する幅広い分野の基礎学力を習得することが望まれます。
- 2-3 また、生徒を取り巻く環境も変化し、学校現場ではさまざまな問題が生じています。中等教育をめぐる諸問題に対して幅広い視野と強い関心を持つ学生を求めています。

3. 特別支援教育教員養成課程

- 3-1 特別支援教育教員には、担当する校種・教科に対応しうる十分な学力とともに、障害のある児童・生徒と向き合っ、その可能性を引きだし、一人一人の異なるニーズに的確に応えることのできる指導力が必要です。
- 3-2 入学する学生には、特別支援教育教員免許状の基礎免許として初等教育教員免許状を取得する場合には、全般的な教科・科目の十分な学力を、中等教育教員免許状を取得する場合には、志望する教科・科目の十分な学力を、高等学校において習得することが望まれます。
- 3-3 また、インクルージョン（困難を抱える人々の存在を当然のこととした社会の構成）をめぐる世界的な流れの中で、学校現場でも対応すべきさまざまな課題が見出されています。特別支援教育に強い関心と意欲があり、その教育に対する使命感を持ち続けることのできる学生を求めています。

本学は、教員になろうとする強い意志を持った者を受け入れることを第一に、推薦入試および一般入試（前期日程、後期日程）により、学力の3要素（①基礎的な知識および技能、②思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）等を多面的・総合的に評価し、入学者を選抜しています。

- 推薦入試では、学校長の推薦に基づいて出願し、課程・専攻別の課題により、知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を評価するとともに、調査書、推薦書や推薦入試レポートおよび面接（一部の課程・専攻では実技試験）の成績で、教員への志向性と主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価して入学者を選抜します。なお、大学入試センター試験および個別学力検査を免除します。
- 一般入試（前期日程）においては、大学入試センター試験の成績で、知識・技能を中心に評価します。また、志望する課程・専攻に応じた個別学力検査（一部の課程・専攻では実技試験）で、思考力・判断力・表現力等の能力を中心に評価し、調査書で主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等について、確認したうえで入学者を選抜します。
- 一般入試（後期日程）においては、志望する課程・専攻に応じて配点された大学入試センター試験によって知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を評価するとともに、調査書および面接（一部の課程・専攻では実技試験）の成績で、教員への志向性と主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価して、入学者を選抜します。なお、個別学力検査は行いません。

1. 募集人員

学部	課程	系・専攻・コース	選考区分	入学定員	募集人員						
					一般入試				推薦入試①	推薦入試②	
					前期日程		後期日程				
教	初等教育教員養成課程	発達・教育系	幼児教育コース	-	188	28	(5)	10	(2)	12	(2)
			子ども文化コース				(5)		(2)		(2)
			教育学コース				(9)		(3)		(4)
			教育心理学コース				(9)		(3)		(4)
		言語・社会系	国語コース	-		28	(8)	9	(3)	12	(4)
			社会コース				(13)		(4)		(5)
			英語コミュニケーションコース				(7)		(2)		(3)
		理数・生活系	数学コース	-		35	(12)	13	(4)	14	(4)
			理科コース				(12)		(4)		(4)
			情報・ものづくりコース				(6)		(3)		(4)
			家庭科コース				(5)		(2)		(2)
		芸術・体育系	音楽コース	-		4	2	3			
	美術コース		4		2	3					
	体育・健康コース		5		2	2					
	小 計					104	38	46	-		
育	中等教育教員養成課程	国語教育専攻	-	107	7	3	-	-			
		社会科教育専攻	-		7	3	-				
		数学教育専攻	-		14	6	-				
		理科教育専攻	-		14	6	-				
		音楽教育専攻	-		8	-	-				
		美術教育専攻	-		5	-	3				
		保健体育専攻	-		8	-	-				
		技術教育専攻	-		8	-	-				
		家庭科教育専攻	-		5	-	-				
		英語教育専攻	-		7	-	3				
小 計					83	18	-	6			
部	特別支援教育教員養成課程	視覚障害教育コース	I型	50	19	(5)	-	12	-		
		聴覚・言語障害教育コース				(5)	-				
		発達障害教育コース				(5)	-				
		健康・運動障害教育コース				(4)	-				
		視覚障害教育コース	II型		19	(5)	-				
		聴覚・言語障害教育コース				(5)	-				
		発達障害教育コース				(5)	-				
		健康・運動障害教育コース				(4)	-				
小 計					38	-	12	-			
合 計				345	225	56	58	6			

- (備考) 1. ()内数字はコース配属数(予定)である。
 2. 初等教育教員養成課程は、系ごとに募集する。
 3. 中等教育教員養成課程は、専攻ごとに募集する。
 4. 特別支援教育教員養成課程の一般入試は、「I型」及び「II型」に分けて募集する。なお、「I型」とは文科系教科・科目による選考を、「II型」とは理科系教科・科目による選考を示す。
 5. 特別支援教育教員養成課程の推薦入試①は、一括で募集する。

2. 出願資格

【一般入試】

入学を志願できる者は、次のいずれかに該当し、かつ、令和2(2020)年度大学入試センター試験の本学指定教科・科目(10～13ページのとおり)を受験した者とする。

- (1) 高等学校(特別支援学校の高等部を含む)もしくは中等教育学校を卒業した者及び令和2(2020)年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2(2020)年3月修了見込みの者
- (3) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む)で18歳に達したもの
- (4) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和2(2020)年3月31日までにこれに該当する見込みの者

※ 上記出願資格(4)該当者のうち、同規則第150条第7号(「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、18歳に達したもの」)により出願する者は、事前に個別の入学資格審査を受けることとする。

入学資格審査を受けようとする者は、提出書類等について通知するので、下記の申請期限に間に合うよう早めに本学入試課入試係(照会先は20ページを参照)まで連絡すること。

申請期限	1回目：令和元(2019)年9月6日(金)まで
	2回目：令和2(2020)年1月10日(金)まで(他大学から入学資格認定を受け、大学入試センター試験に出願し受験した者が、宮城教育大学の入学者選抜試験に出願しようとする場合)

【推薦入試(大学入試センター試験を課さない)】

8～9ページの出願要件に定めるとおりとする。

3. 出願上の留意事項

- (1) 初等教育教員養成課程については志願する系にあるコースの中から、発達・教育系及び理数・生活系については第1志望から第4志望まで、言語・社会系については第3志望までのコースを選択すること。
ただし、芸術・体育系は第1志望のコースのみ選択すること。
なお、芸術・体育系以外の系において、志望しないコースがあった場合は、そのコースへの出願意志はないものとみなす。
- (2) 特別支援教育教員養成課程の一般入試については第1志望から第4志望までのコースを選択すること。
なお、志望しないコースがあった場合は、そのコースへの出願意志はないものとみなす。
- (3) 初等教育教員養成課程(各系)のコースごとの所属の決定は、入学試験の成績と志望順位を考慮して、合格発表時に行う。
- (4) 特別支援教育教員養成課程の一般入試(I型、II型)のコースごとの所属の決定は、入学試験の成績と志望順位を考慮して、合格発表時に行う。

4. 入試方法等

(1) 入試の種類と実施方法

- ① 入試は、一般入試(大学入試センター試験及び本学が実施する個別学力検査等)と推薦入試の2種類で行う。
- ② 本学が実施する「前期日程」出願者は、同じく本学が実施する「後期日程」にも出願できる。
- ③ 大学入試センター試験については、令和2(2020)年度の成績のみを利用する。

(2) 一般入試の教科・科目及び配点

一般入試における試験の実施教科・科目及び配点は、10～13ページのとおりとする。
なお、系、専攻及び選考区分(I型、II型)ごとに本学が定める個別学力検査等の教科・科目等を1つでも受験しなかった場合、以後の受験を認めない。また、合格者判定の対象としない。

(3) 一般入試における面接及び実技検査の概要

面接は、以下のとおりとする。

- ① 面接は、個人面接とする。
- ② 面接は、令和2(2020)年3月12日(木)に行う(3月13日(金)に及ぶ場合がある)。
実技検査の概要については、14～16ページのとおりとする。

(4) 推薦入試(大学入試センター試験を課さない)

出身学校長からの推薦に基づいて、総合判定により合格者を決定する。

大学入試センター試験の受験は、出願の要件としない。なお、募集人員、出願要件、入試方法等は、8～9ページのとおりとする。

入学者選抜方法等（一般入試）

学部・課程・系・ コース・専攻名		個別学力検査等					個別学力 検査等の 実施日程	備 考 (欠員の 補充の 方法等)	
		実 技 検 査 等							
		個別学力 検査を課 する	実技検査 を課する	面接を 行 う	小論文を 課する	外国語におけ るリスニング を課する			
教 育 学 部	前 期 日 程	初等教育教員養成課程 発達・教育系 幼児教育コース 子ども文化コース 教育学コース 教育心理学コース 言語・社会系 国語コース 社会コース 英語コミュニケーションコース 理数・生活系 数学コース 理科コース 情報・ものづくりコース 家庭科コース 中等教育教員養成課程 国語教育専攻 社会科教育専攻 数学教育専攻 理科教育専攻 技術教育専攻 家庭科教育専攻 英語教育専攻 特別支援教育教員養成課程 視覚障害教育コース（Ⅰ型） 視覚障害教育コース（Ⅱ型） 聴覚・言語障害教育コース（Ⅰ型） 聴覚・言語障害教育コース（Ⅱ型） 発達障害教育コース（Ⅰ型） 発達障害教育コース（Ⅱ型） 健康・運動障害教育コース（Ⅰ型） 健康・運動障害教育コース（Ⅱ型）	○	×	×	×	×	2月25日	欠員が生じた場合は、追加合格又は欠員補充第2次募集を行うことがある。
	後 期 日 程	初等教育教員養成課程 芸術・体育系 音楽コース 美術コース 体育・健康コース 中等教育教員養成課程 音楽教育専攻 美術教育専攻 保健体育専攻	○	○	×	×	×	学力検査 2月25日 実技検査 2月25日 26日	

附表1

学部・課程・系・ コース・専攻名		個別学力検査等					個別学力 検査等の 実施日程	備 考 (欠員の 補充の 方法等)	
		選抜方法等	個別学力 検査を課 する	実 技 検 査 等					外国語におけ るリスニング を課する
				実技検査 を課する	面接を 行 う	小論文を 課する			
教 育 学 部	後 期 日 程	初等教育教員養成課程 発達・教育系 幼児教育コース 子ども文化コース 教育学コース 教育心理学コース 言語・社会系 国語コース 社会コース 英語コミュニケーションコース 理数・生活系 数学コース 理科コース 情報・ものづくりコース 家庭科コース 中等教育教員養成課程 国語教育専攻 社会科教育専攻 数学教育専攻 理科教育専攻	×	×	○	×	×	3月12日 (3月13日 に及ぶ場 合がある)	欠員が生じた 場合は、追加 合格又は欠員 補充第2次募 集を行うこと がある。
	前期	初等教育教員養成課程 芸術・体育系 音楽コース 美術コース 体育・健康コース	×	○	×	×	×	3月12日	

入学者選抜方法等（推薦入試）

附表2

学部・課程・系・ コース・専攻名		推 薦 入 試							備 考	
		実 技 検 査 等								
		個別学力検査 を免除し、大 学入試セン ター試験を課 する	個別学力検査 及び大学入試 センター試験 を免除する	実技検 査を課 する	面 接 を行う	小論文 を課す る	外国語に おけるリス ニングを課 する	その他		
推 薦 入 試 ①	初等教育教員養成課程 発達・教育系 幼児教育コース 子ども文化コース 教育学コース 教育心理学コース 言語・社会系 国語コース 社会コース 英語コミュニケーションコース 理数・生活系 数学コース 理科コース 情報・ものづくりコース 家庭科コース 芸術・体育系 音楽コース 美術コース 体育・健康コース 特別支援教育教員養成課程	×	○	×	○	×	×	○		
	推 薦 入 試 ②	中等教育教員養成課程 美術教育専攻 英語教育専攻	×	○	※○	○	×	×	○	※専攻別課題とし て鉛筆デッサン を課す。

推薦入試①（大学入試センター試験を課さない）

附表3

実施学部・課程名	教育学部 初等教育教員養成課程 特別支援教育教員養成課程
募 集 人 員	初等教育教員養成課程 46名 特別支援教育教員養成課程 12名 計 58名
出 願 要 件	<p>(1) 出願資格 出願する者は、次のいずれかに該当し、学校長から推薦のあった者とする。 ①高等学校（特別支援学校の高等部を含む）もしくは中等教育学校を令和2（2020）年3月に卒業見込みの者 ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和2（2020）年3月に修了見込みの者 なお、海外留学者、単位制高校出身者及び在外教育施設修了者等については、卒業（修了）が令和2（2020）年3月より前であっても平成31（2019）年4月以降に卒業（修了）した場合は、出願を認めることがある。</p> <p>(2) 推薦要件 上記の出願資格に該当し、次のすべての推薦要件をみたすこと。 ①教員になろうとする強い意志を持つ者であること。 ②調査書の「全体の評定平均値」が4.0以上であること。 ③本学入学後、意欲的に研鑽に努め得る者であること。 ④合格した場合は、本学への入学が確約できる者であること。</p>
入 試 方 法 等	<p>第1次選考 課程別課題の評価により行い、第1次選考合格者は募集人員の2倍以内とする。</p> <p>第2次選考 第1次選考合格者に対して集団面接及び個人面接を課し、第1次選考で実施した課程別課題の評価、出願書類を含め、総合的に評価して第2次選考合格者の決定を行う。 芸術・体育系の集団面接にはコース独自の要素を含むことがある。</p>
出 願 期 間	令和元(2019)年11月1日(金)～11月7日(木)
入 試 期 日	(1次) 令和元(2019)年11月16日(土) (2次) 令和元(2019)年12月7日(土)(12月8日(日)に及ぶ場合がある。)
合 格 発 表 日	(1次) 令和元(2019)年11月21日(木) (2次) 令和元(2019)年12月12日(木)
入 学 手 続 期 間	令和元(2019)年12月23日(月)～12月24日(火)
そ の 他	推薦は1校につき、初等教育教員養成課程は「発達・教育系」「言語・社会系」「理数・生活系」「芸術・体育系」の4つの系のそれぞれについて1名、特別支援教育教員養成課程は2名、計6名までとする。

推薦入試②（大学入試センター試験を課さない）

附表4

実施学部・課程名	教育学部 中等教育教員養成課程 美術教育専攻 英語教育専攻
募 集 人 員	美術教育専攻 3名 英語教育専攻 3名 計 6名
出 願 要 件	<p>(1) 出願資格 出願する者は、次のいずれかに該当し、学校長から推薦のあった者とする。 ①高等学校（特別支援学校の高等部を含む）もしくは中等教育学校を令和2（2020）年3月に卒業見込みの者 ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和2（2020）年3月に修了見込みの者 なお、海外留学者、単位制高校出身者及び在外教育施設修了者等については、卒業（修了）が令和2（2020）年3月より前であっても平成31年4月以降に卒業（修了）した場合は、出願を認めることがある。</p> <p>(2) 推薦要件 上記の出願資格に該当し、次のすべての推薦要件をみたすこと。 ①教員になろうとする強い意志を持つ者であること。 ②美術教育専攻では調査書の「全体の評定平均値」が3.8以上、英語教育専攻では調査書の「全体の評定平均値」が4.0以上であること。 ③英語教育専攻に出願する場合は、次のいずれかの試験のスコア（推薦入試の入試日から遡って2年前まで有効）を提出すること。 GTEC CBT（公式スコア） GTEC for STUDENTS Advanced（3技能版、4技能版） GTEC Advanced（3技能版、4技能版） ※ GTEC for STUDENTS Advanced、GTEC Advanced は、「OFFICIAL SCORE」の印字のある成績（検定試験）及び「OFFICIAL SCORE」の印字のない成績（通常試験）も認める。 TOEFL iBT®TEST（公式スコア） TOEIC® Listening & Reading 公開テスト（公式スコア） ④本学入学後、意欲的に研鑽に努め得る者であること。 ⑤合格した場合は、本学への入学が確約できる者であること。</p>
入 試 方 法 等	<p>美術教育専攻 出願書類（推薦書、調査書及び推薦入試レポート）の内容、専攻別課題（鉛筆デッサン）及び個人面接の結果を総合して、合格者を決定する。</p> <p>英語教育専攻 出願書類（推薦書、調査書、推薦入試レポート及び外部試験のスコア）の内容と個人面接（英語の読解及び英語によるインタビューを含む）の結果を総合して、合格者を決定する。</p>
出 願 期 間	令和元(2019)年11月1日(金)～11月7日(木)
入 試 期 日	令和元(2019)年11月16日(土)（11月17日(日)に及ぶ場合がある。）
合 格 発 表 日	令和元(2019)年11月21日(木)
入 学 手 続 期 間	令和元(2019)年12月23日(月)～12月24日(火)
そ の 他	推薦は1校につき各専攻1名、計2名までとする。

TOEFL iBT®TEST、TOEIC® はエデュケーション・テスト・サービス（ETS）の登録商標です。
この印刷物はETSの検討を受けまたは承認を得たものではありません。

学部・学科等 及び入学定員等 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等 科目名等	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等		その他の入試 方法等			
		教科	科目名等		試験の区分	国語 地理歴史 ・公民		数学 理科	外国語	面接 実技
音楽教育 専攻 8人 前期 8 後期 5 その他 3	前期 2月25日 26日	国語	世界・日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から2科目	国語総合 実技(実技検査の概要別表2 参照)	センター試験 個別学力検査等	200 100	200 100	200 100	900 600	外国人 追加合格 欠員補充
		数 理 外	数I・数A」と「数II・数B、簿、情報から1」の計2科目 物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目、あるいは物理・化学・ 生物・地学から1科目 英、独、仏、中、韓から1科目 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕		計	300	200	100	500 500	1500
美術教育 専攻 8人 前期 5 その他 3	前期 2月25日 26日	国語	世界・日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から2科目	国語総合 実技(実技検査の概要別表2 参照)	センター試験 個別学力検査等	200 100	200 100	200 100	700 600	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
		数 理 外	数I・数A」と「数II・数B、簿、情報から1」の計2科目 物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目、あるいは物理・化学・ 生物・地学から1科目 英、独、仏、中、韓から1科目 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕		計	300	100	100	500 500	1300
保健体育 専攻 8人 前期 8 後期 5 その他 3	前期 2月25日 26日	国語	世界・日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1又は2(注)	国語総合 実技(実技検査の概要別表2 参照)	センター試験 個別学力検査等	200 100	200 100	200 100	900 600	外国人 追加合格 欠員補充
		数 理 外	次の①、②のいずれかを選択(注) ①物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目、あるいは物理・化学・生物・ 地学から1科目 ②物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目と物理・化学・生物・地学から 1科目、あるいは②物理・化学・生物・地学から2科目 〔科目、あるいは②物理・化学・生物・地学から2科目 英、独、仏、中、韓から1科目 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕〕		計	300	200	200	500 500	1500
技術教育 専攻 8人 前期 8 後期 5 その他 3	前期 2月25日 26日	国語	世界・日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1科目	国語総合 数学I・数学II・数学A・ 数学B(注2)	センター試験 個別学力検査等	200 300	100 300	200 300	900 600	外国人 追加合格 欠員補充
		数 理 外	〔数I・数A〕と「数II・数B、簿、情報から1」の計2科目 ①物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目と物理・化学・生物・地学 から1科目、あるいは②物理・化学・生物・地学から2科目 なお、①の場合、基礎を付した科目と同一の基礎を付さない科目を選択できない(物理基礎と物理、 化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学の組み合わせは選択できない)。 英、独、仏、中、韓から1科目 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕		計	500	100	500	200 200	1500
家庭科 教育専攻 5人 前期 5 後期 5 その他 3	前期 2月25日 26日	国語	世界・日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1科目	国語総合 数学I・数学II・数学A・ 数学B(注2)	センター試験 個別学力検査等	200 300	100 300	200 300	900 600	外国人 追加合格 欠員補充
		数 理 外	〔数I・数A〕と「数II・数B、簿、情報から1」の計2科目 ①物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目と物理・化学・生物・地学 から1科目、あるいは②物理・化学・生物・地学から2科目 なお、①の場合、基礎を付した科目と同一の基礎を付さない科目を選択できない(物理基礎と物理、 化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学の組み合わせは選択できない)。 英、独、仏、中、韓から1科目 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕		計	500	100	500	200 200	1500

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄
「地理歴史・公民」から2科目を選択する場合、「倫理」「政治・経済」「現代社会」「倫理」「政治・経済」から2科目を選択することはできない。また、「倫理」「政治・経済」と、「倫理」「政治・経済」の両方を選択することから、この2科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(税込)者に限る。
(注1) 中・前期日程の美術教育専攻では地理歴史・公民の点数を0.5倍、数学2科目の点数を0.5倍に換算する。
(注2) 「数学B」の出題範囲は「数教1」「ベクトル」とする。
【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄
「大学入試センター試験」における英語の配点にはリスニング(200満点)とリスニング(50満点)の合計得点を200満点に換算して利用する。
□で囲まれている点数は、下記のとおり換算した点数である。
○：前期日程の美術教育専攻では地理歴史・公民の点数を0.5倍、数学2科目の点数を0.5倍に換算する。
①：地理歴史・公民の第1解答科目の成績を用いる。
②：地理歴史・公民の第2解答科目、及び理科の基礎を付した2科目、基礎を付さない1科目、基礎を付さない1科目の成績を用いる。
③：中等教育教員養成課程の保健体育専攻は、基礎を付した2科目の成績と基礎を付さない1科目の成績を用いる。
④：理科は、基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
⑤：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
⑥：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
⑦：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
⑧：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
⑨：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
⑩：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
⑪：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
⑫：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
⑬：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
⑭：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
⑮：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
⑯：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
⑰：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
⑱：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
⑲：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
⑳：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㉑：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㉒：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㉓：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㉔：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㉕：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㉖：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㉗：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㉘：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㉙：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㉚：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㉛：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㉜：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㉝：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㉞：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㉟：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㊱：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㊲：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㊳：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㊴：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㊵：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㊶：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㊷：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㊸：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㊹：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㊺：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㊻：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㊼：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㊽：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㊾：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
㊿：基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成31年度 〔志願倍率〕〕	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等 科目名等	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等						その他の入試 の方法等	
		教科	科目名等		試験の区分	国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語		面接 実技
中等 教育 課程 107人 前期 225 後期 56 その他 64 〔2.9〕	英語教育 専攻 10人 前期7 その他3	国語 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から2科目 〔数Ⅰ・数A〕と〔数Ⅱ・数B、選、情報から1〕の計2科目 物理基礎・化学基礎・生物基礎の基礎を付した科目から2科目、あるいは物理・化学・ 生物・地学から1科目 英、独、仏、中、韓から1科目 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	科目名等	国語総合 コ コ コ コ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	センター試験	200	200	200	200	200	900	推薦 外国人 追加合格 次員補充
				200	300	500	200	200	200	100	200	
特別 支援 教育 課程 50人 前期 38 その他 12	I型 19人 前期19 その他 若干	国語 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から2科目 〔数Ⅰ・数A〕と〔数Ⅱ・数B、選、情報から1〕の計2科目 物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目、あるいは物理・化学・ 生物・地学から1科目 英、独、仏、中、韓から1科目 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	科目名等	国語総合 コ コ コ 英語表現Ⅰ	センター試験	200	200	200	200	200	900	推薦 外国人 追加合格 次員補充
				200	400	200	200	200	100	200	200	
前期 38 その他 12	II型 19人 前期19 その他 若干	国語 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から1科目 〔数Ⅰ・数A〕と〔数Ⅱ・数B、選、情報から1〕の計2科目 ①物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎の基礎を付した科目から2科目と物理・化学・生物・地学 から1科目、あるいは②物理・化学・生物・地学から2科目 なお、①の場合、基礎を付した科目と同一の基礎を付さない科目を選択できる〔物理基礎と物理、 化学基礎と化学、生物基礎と生物、地学基礎と地学の組み合わせは選択できる〕。 英、独、仏、中、韓から1科目 〔5教科7～8科目〕	科目名等	国語総合 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・ 数学B〔注1〕	センター試験	200	100	200	200	200	900	推薦 外国人 追加合格 次員補充
				200	400	200	200	400	100	200	200	

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄
 地理歴史・公民から2科目選択解する場合は、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」から2科目選択することはない。また、「倫理、政治・経済」と、「倫理、政治・経済」を合わせて2科目選択すること（同一名称科目の選択）もできない。
 「歴史・社会」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込）者に限る。
 地理歴史・公民と理科において、1科目選択受験を指定している専攻・型に出願した者で、指定の科目数を超えて受験した場合は、第1解答科目の成績を用いる。
 ①地理歴史・公民において、基礎を付した科目から2科目又は基礎を付さない科目から1科目選択受験を指定している専攻・型に出願した者で、指定の科目数を超えて受験した場合、第1解答科目の成績を用いる。
 ・基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合は、基礎を付した2科目の成績と基礎を付さない1科目の成績のうち、いずれか高得点の成績を用いる。
 ・基礎を付した2科目及び基礎を付さない1科目を受験した場合は、基礎を付した2科目の成績と基礎を付さない1科目の成績のうち、いずれか高得点の成績を用いる。

【個別学力検査等】欄
 〔注1〕「数学B」の出題範囲は「数列」「ベクトル」とする。
 【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄
 大学入試センター試験における英語の配点にはリスニングの成績を含む。英語の配点は、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算して利用する。

実技検査の概要

前期日程試験

【初等教育教員養成課程 芸術・体育系】

別表1

<p>音楽 コース</p>	<p>(1) 演奏試験 器楽（日本の楽器を含む）又は声楽により、演奏する能力をみる。演奏する曲目は任意とし、演奏時間は1人数分程度とする。時間の関係で、演奏を途中でとめることがある。 なお、ピアノ伴奏が必要な場合、伴奏者は本学で準備する。ピアノ以外の楽器を使用する場合には、受験者が持参する。 以下のものについては、出願時に提出する。</p> <p>① 演奏曲目届（書式任意）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・器楽又は声楽の別 ・器楽を選択する場合は、使用楽器名 ・演奏曲目（作曲者名、曲名、作品番号、演奏する楽章等） ・ピアノ以外を選択する者は、伴奏の必要の有無 <p>② 演奏楽譜（ピアノ伴奏が必要な場合は伴奏付きの楽譜）</p> <p>(2) 筆記試験 楽典に関する初歩的な知識をみる。試験時間は20分とする。</p> <p>(3) 弾き歌い 小学校歌唱教材程度の曲を、ピアノを弾きながら歌う能力をみる。 課題曲は、10月に発表される一般入試学生募集要項で発表する。</p>
<p>美術 コース</p>	<p>試験は四つ切り画用紙（380×540mm）に鉛筆を用いた静物デッサンを実施する。 表現力、構成力、物の捉え方等の基礎能力をみる。 試験時間は3時間とする。</p>
<p>体育・ 健康 コース</p>	<p>歩・走・跳・投の運動、器械・器具を使っての運動、用具を操作する運動などの基本的な運動から構成されたいくつかの課題について実技検査を行う。与えられた課題を把握する能力、他者やものの動きとの協応性、動きの巧みさとしなやかさ、リズム感や連続性、全身の協調性を総合的にみる。</p> <p>※実技検査は屋内で行う。</p>

音 楽 教 育 専 攻	<p>(1) 演 奏 試 験 器楽（日本の楽器を含む）又は声楽により、演奏する能力をみる。演奏する曲目は任意とし、演奏時間は1人数分程度とする。時間の関係で、演奏を途中でとめることがある。 なお、ピアノ伴奏が必要な場合、伴奏者は本学で準備する。ピアノ以外の楽器を使用する場合には、受験者が持参する。 以下のものについては、出願時に提出する。</p> <p>① 演奏曲目届（書式任意）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・器楽又は声楽の別 ・器楽を選択する場合は、使用楽器名 ・演奏曲目（作曲者名、曲名、作品番号、演奏する楽章等） ・ピアノ以外を選択する者は、伴奏の必要の有無 <p>② 演奏楽譜（ピアノ伴奏が必要な場合は伴奏付きの楽譜）</p> <p>(2) 筆 記 試 験 楽典と、日本及び諸外国の音楽に関する基礎的な知識をみる。試験時間は40分とする。</p> <p>(3) 平 易 な 聴 音 単旋律を聴いて書き取る能力をみる。</p> <p>(4) 弾 き 歌 い ピアノを弾きながら歌う能力をみる。 課題曲は、10月に発表される一般入試学生募集要項で発表する。</p>
美 術 教 育 専 攻	<p>試験は四つ切り画用紙（380×540mm）に鉛筆デッサンを実施する。 観察力、描写力、構成力等の基本的造形能力をみる。 試験時間は3時間とする。</p>
保 健 体 育 専 攻	<p>次の(1)～(3)について実技検査を行う。なお、出願後の球技の種目の変更は認めない。</p> <p>(1) 〔球技〕バスケットボール、バレーボール、サッカーから1種目選択する。</p> <p>①バスケットボール：攻撃と防御の個人的基礎技能の習熟度及びゲームにおける基礎的プレイの実践力をみる。</p> <p>②バレーボール：個人的基礎技能の習熟度、及びゲームにおける総合的な動きの実践力をみる。</p> <p>③サッカー：個人的基礎技能（対人プレイも含む）の習熟度及びゲームにおける総合的な実践力をみる。</p> <p>(2) 〔器械運動〕マット運動・鉄棒運動・跳び箱運動のうち1～2種目における基本的な技とその組合せの習熟度をみる。</p> <p>(3) 〔陸上競技〕走・跳・投種目のうち1～3種目について、基礎的技能を中心に技術やルール等の理解もあわせてみる。</p> <p>※実技検査はいずれも屋内で行う。</p>

後期日程試験

【初等教育教員養成課程 芸術・体育系】

別表3

音 楽 コ ー ス	<p>(1) 演 奏 試 験 器楽（日本の楽器を含む）又は声楽により、演奏する能力をみる。演奏する曲目は任意とし、演奏時間は1人数分程度とする。時間の関係で、演奏を途中でとめることがある。 なお、ピアノ伴奏が必要な場合、伴奏者は本学で準備する。ピアノ以外の楽器を使用する場合には、受験者が持参する。 以下のものについては、出願時に提出する。</p> <p>① 演奏曲目届（書式任意）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・器楽又は声楽の別 ・器楽を選択する場合は、使用楽器名 ・演奏曲目（作曲者名、曲名、作品番号、演奏する楽章等） ・ピアノ以外を選択する者は、伴奏の必要の有無 <p>② 演奏楽譜（ピアノ伴奏が必要な場合は伴奏付きの楽譜）</p> <p>(2) 筆 記 試 験 楽典に関する初歩的な知識をみる。試験時間は20分とする。</p> <p>(3) 弾 き 歌 い 小学校歌唱教材程度の曲を、ピアノを弾きながら歌う能力をみる。 課題曲は、10月に発表される一般入試学生募集要項で発表する。</p>
美 術 コ ー ス	<p>試験は四つ切り画用紙（380×540mm）に鉛筆を用いた静物デッサンを実施する。 表現力、構成力、物の捉え方等の基礎能力をみる。 試験時間は3時間とする。</p>
体 育 ・ 健 康 コ ー ス	<p>歩・走・跳・投の運動、器械・器具を使っての運動、用具を操作する運動などの基本的な運動から構成されたいくつかの課題について実技検査を行う。与えられた課題を把握する能力、他者やものの動きとの協応性、動きの巧みさとしなやかさ、リズム感や連続性、全身の協調性を総合的にみる。</p> <p>※実技検査は屋内で行う。</p>

5. 私費外国人留学生入試

- (1) 募集人員は、若干名とする。
- (2) 出願資格は、日本国籍を有しない者のうち、出入国管理及び難民認定法別表第1の4に定める在留資格「留学」を有する者及び取得できる見込みの者で、次の1)及び2)に該当するものとする。
- 1) 次の各号のいずれかに該当する者
- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和2(2020)年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
 - ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
 - ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
 - ⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において、大学入学資格として認められる、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEAレベル)を有する者
 - ⑤ 国際的な評価団体(WASC, ACSI, CIS)*から教育活動等に係る認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者及び修了見込みの者
- *WASC: Western Association of Schools and Colleges
 ACSI: Association of Christian Schools International
 CIS: Council of International Schools
- 2) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する令和元(2019)年度第1回又は第2回日本留学試験の本学指定教科・科目を受験した者
 大学入試センター試験の受験は、出願の要件としない。
- (3) 日本留学試験における受験系の別(文科系、理科系)に対応する本学の課程・専攻・コースは、次のとおりとする。

受験系	本学の課程・専攻・コース		
	初等教育教員養成課程	中等教育教員養成課程	特別支援教育教員養成課程
文科系	発達・教育系 幼児教育コース 子ども文化コース 教育学コース 教育心理学コース 言語・社会系 国語コース 社会コース 英語コミュニケーションコース 芸術・体育系 音楽コース 美術コース 体育・健康コース	国語教育専攻 社会科教育専攻 音楽教育専攻 美術教育専攻 保健体育専攻 英語教育専攻	視覚障害教育コース 聴覚・言語障害教育コース 発達障害教育コース 健康・運動障害教育コース

理 科 系	発達・教育系 教育学コース 教育心理学コース 理数・生活系 数学コース 理科コース 情報・ものづくりコース 家庭科コース 芸術・体育系 体育・健康コース	数学教育専攻 理科教育専攻 保健体育専攻 技術教育専攻 家庭科教育専攻	視覚障害教育コース 聴覚・言語障害教育コース 発達障害教育コース 健康・運動障害教育コース
-------	---	---	--

(4) 入試方法

- ① 日本留学試験、本学が実施する日本語（文法・読解）の試験、面接試験及び実技検査の結果を総合して選考する。
- ② 日本留学試験で本学が課す教科・科目は、次の表に記載するとおりとする。
 なお、出題言語は、日本語とする。

受験系	教科・科目	備 考
文 科 系	日 本 語	「記述」「読解」「聴解・聴読解」の3領域
	総 合 科 目	
	数 学（コース1）	
理 科 系	日 本 語	「記述」「読解」「聴解・聴読解」の3領域
	理 科	「物理」「化学」「生物」から2科目選択
	数 学（コース2）	

- ③ 面接試験の一部として、基礎的な学力検査を行うことがある。
- ④ 初等教育教員養成課程の芸術・体育系（音楽コース、美術コース、体育・健康コース）及び中等教育教員養成課程の音楽教育専攻、美術教育専攻、保健体育専攻に出願する者については、実技検査を行う。

(5) 実施日時等

期 日	時 間	試 験 内 容	試 験 場	備 考
令和2(2020)年 2月1日(土)	9:00~10:30	日 本 語 (文法・読解)	本 学	辞書（電子辞書を含む）の 使用は認めない。
	13:00~	面 接 試 験 実 技 検 査		

6. 入学者選抜試験の情報開示

情報開示の方法については、それぞれの入試ごとに学生募集要項で公表する。

7. 学生募集要項の配付時期

学生募集要項の配付時期は次のとおりとする。なお、請求方法の詳細については下記を参照のこと。

- (1) 推薦入試は8月上旬から
- (2) 一般入試及び私費外国人留学生入試は10月下旬から
(私費外国人留学生入試の学生募集要項は、電子ファイルのみでの配付となります。)

8. その他

- (1) 受験上及び修学上特別な配慮を必要とする出願予定者は、本学の各種学生募集要項を参照すること。
- (2) 入学者が入学定員に満たない場合には、「追加合格」又は「欠員補充第2次募集」を行うことがある。ただし、推薦入試については、いずれも行わない。

○ 学生募集要項等の請求方法

1. 大学のホームページから請求する場合

大学のホームページからテレメール、モバっちょによる資料請求ができます。

詳しくは、宮城教育大学のホームページ(<http://www.miyakyo-u.ac.jp>)の資料請求をご覧ください。私費外国人留学生入試の学生募集要項も同じ URL からダウンロードしてください。

2. 宅配便利用の場合

高等学校等で取りまとめて請求する場合は必要部数を明記し、着払いの宅配ラベル(送付先明記)を同封のうえ請求してください。

3. 郵送を希望する場合

入試課入試係あての封筒の表に、必要とする募集要項の種類を朱書きのうえ、郵送してください。その際、角形2号の返信用封筒に返送先の郵便番号・住所・氏名を明記し、切手380円分をはって同封してください。

※切手の金額は令和元(2019)年7月現在のものです。消費税等に伴い金額の変更があった場合、本学ホームページ(<http://www.miyakyo-u.ac.jp/news/entrance-exam/index.html>)において周知予定ですので、確認してください。

4. 直接来学する場合

本学正門受付もしくは入試課入試係(下記住所)で受け取ってください。配付時間は、入試課入試係で受け取る場合は8時30分から17時までです。

また、本学正門受付では24時間、平日・土・日・祝日を問わず受け取ることができます。

○ オープンキャンパス、秋のミニオープンキャンパス

本学の受験を考えている方、本学に興味のある方に直接キャンパスに来ていただき、さまざまな体験をしていただける機会です。入試制度や教育内容等の説明、相談も受け付けますので、保護者の方も含め、ご自由にご参加ください。ただし、高校単位で貸切バスを利用して参加される場合は、事前に次の照会先までご連絡ください。

日程は以下のとおりです。詳細については、本学ホームページ・携帯サイトでご確認ください。

オープンキャンパス	令和元(2019)年8月2日(金)
秋のミニオープンキャンパス	令和元(2019)年9月28日(土)

○ 照 会 先

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉149番地 宮城教育大学 入試課入試係 (TEL(022)214-3334)

○ 入学試験に関するインターネットによる情報提供

<http://www.miyakyo-u.ac.jp> (宮城教育大学のホームページ参照)

<https://daigakujc.jp/prc.miyakyo-u/> (宮城教育大学の携帯サイト参照)

○ 宮城教育大学までのアクセス

〈地下鉄 東西線〉

「仙台」駅から「八木山動物公園」行き乗車、「青葉山」駅下車

(乗車時間9分、料金250円)

「青葉山」駅「北1出口」から徒歩約7分

※「青葉山」駅の「北1出口」から外に出て、歩道を右方向へ進みます。

そのまま歩道を歩いて行くと宮城教育大学に到着します(約650m)。

【本学ホームページ「交通アクセス」 <http://www.miyakyo-u.ac.jp/>】

